

令和3年度 浦添市まちづくりアカデミー
第4回

10月20日（水）18時～20時
ZOOM 開催

第4回講座『協同・共同・協働 地域と一緒に考え行動する防災訓練』

講師：一般社団法人 まちづくりうらそえ 代表理事
大城喜江子 氏

ひょうこりゲスト：与那原 孝 氏



子ども達が活動する意義：地域課題に向き合うきっかけ

＊なぜ防災避難訓練？（きっかけであり手段）

1. 子どもたちに住んで良かったと思える地域にしたいな（愛着と故郷づくり）
2. 住んでいる地域に興味と関心をもって好きになると良いな（意識すること）
3. 地域住民、大人たちの見守りがあるという実感があると良いな（繋がり感と存在感）
4. 子どもたちの活躍の場をチャレンジする（主体性）

帰ってこれる場所がある（居場所）
生きる力と、生き抜く力につながるように！

地域を知って（足元）、課題を見つけ（意識）、行動する（解決策）

活動費：どんどこプロジェクト（助成金）への挑戦
地域散策・福祉体験・避難マップづくり

中学生が地域課題への取組

＊地域の課題

安謝川沿いの海拔2メートル地域の保育園や住民は、地震等があった場合、小学校やセンターへの避難はどうする？

＊児童センターの課題

福祉避難施設として指定されているが、情報もガイドラインもない

助成金を活用して地域散策・福祉体験・避難マップづくりに取り組む

中学生の「地域あげての避難訓練が必要でしょう！」の声を具現化！！



「沖縄テレビ 2015 年 4 月 7 日 放送」



感想

（どう、連携・協力を
得ていくのか？）

『こちらから
顔を出していく。
自分をしてもらう』が
心に残りました。

『きょうどう』とは
地域を知って、
課題を見つけ
行動する。を様々な
人々と連携・協力して継続
していくこと。でしょうか。

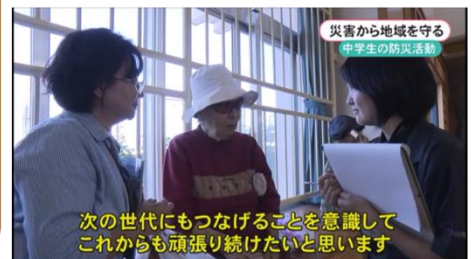
老いも若者も子どもも
一緒になって行うことの
大切さを実感しました。

公民館に
とって
大事なことは
若い人が地域を
愛すること。

大人は
子ども達が
地域を
愛せるように
仕掛ける

6年前はそんなに
地域のことを
知らなかった。
森の子と防災訓練に
関わり始めて
少しずつ地域のことを
知ることが出来た。

マンネリ化が現状。
避難訓練だけでなく
自治会を構成している
自治会員（住民）の
意識のマンネリ化が課題



次の世代にもつなげることを意識して
これからも頑張りたいと思います

「沖縄テレビ 2015 年 4 月 7 日 放送」

浦添市まちづくりアカデミー 第4回講座 アンケート 結果

1. 「きょうどう」についてイメージがつかまりましたでしょうか。

- ・地域を知って、課題を見つけ、行動する。を様々な人々と連携・協力して継続していくことでしょうか。「きょうどう」が具体的になっていきました。
- ・大変分かりやすい説明と実演に感動いたしました。中学生が中心になっての防災訓練というのは素晴らしいですね。2000件のチラシを配って400件参加したことはすごいことですね。回を重ねるごとに100%の方々が参加できるようになるのでしょうか。老いも若いものも子どもも一緒になって行うことの大切さを実感させられました。夜間の防災訓練という発想は大事ですね。災害は昼とは限りませんからね。

2. 今日の講座の感想をお書きください。

- ・内容はとても大事でした。意見を述べる事が出来て良かったです。
- ・大城さんからの返答、(どう、連携・協力を得ていくのか?についての)「こちらから顔を出していく。自分を知ってもらおう」が心に残りました。ありがとうございます。
- ・代表理事の大城喜江子さんの活躍、行動力に脱帽です。私たちの住む港川中学校校区でも民生委員とCSWが中心になってボランチュキャンプを行い、その中で防災マップや地域の色々な場所を確認したりということを行ったことがありましたが、そこには中学校区の11自治会の自治会長さんも参加して地域子ども達と触れ合うチャンスをつくってきました。今年はコロナ禍で行うことはできなかったのですが、児童館でもカレー作りをしてその中から気になる子どもの発見や家庭を知るきっかけになればということで児童館の職員と民生委員と自治会長さん等と協力して行ってみました。

『中学生と取り組む防災についての様子』



「沖縄テレビ 2015年4月7日 放送」